

あいち・なごや強靱化共創センター設立記念WS

11月11日（土）に名古屋大学内に「あいち・なごや強靱化共創センター」が設立されました。オープニングイベントで、午前に分科会として若者のワークショップの成果を話し合い、午後からのパネルディスカッションで発表する企画がありました。若者のワークショップでファシリテーターを務めました。

☆あいち・なごや強靱化共創センターとは

「愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、平成29年6月に設立（シンポジウム資料より）。」

☆分科会では

分科会は、日本ファシリテーション協会の復興支援室が協力しております。若者は、小学生3グループ、中学生1グループ、大学生1グループ、大学院生・新社会人1グループで構成されています。この中の中学生グループを担当しました。時間は90分。内容は自己紹介、災害が起きる前に準備すること、皆でやっておくこと、自分達でできることについて話し合いました。

☆中高生のグループでは

6人の高校生と2人の中学生で構成されていました。全員、学校で防災に関する活動や教育の経験があるとのことでした。初めて会う子もいて、アイスブレイクに時間をかけ、それぞれの思いをじっくりと聴きました。そして、やっておきたいこと、準備しておきたいことを2～3人ずつに分かれて話し合い、まとめを全員で共有し自分の意見を追記して最終のまとめとしました。



☆各グループの発表者は1～2人。中高生グループ以外は全員女子だったそうです。注目の男子でしたが、緊張しながらも自分の意見を交えて発表してくれました。

さすが、こういう場に参加するだけあって、慣れればちゃんと自分の意見が言える、下級生の面倒もみられる素敵な学生さんたちでした。その場に居られたことに感謝します。